

令和6年度（2024年度）

井 手 玉 川 大 学

（ ま と め ）

《 心豊かに 生き生きと 》



井手町教育委員会

令和6年度(2024 年度) 井手玉川大学 講座一覧

日 時	講座内容	講 師
7 月 30 日 (火) 13:30~15:00	・開講式 ・「和楽器に触れよう」 和楽器の歴史 鑑賞 体験	きんでんりゅうたいしょうご と だいしほんほ 琴 伝 流 大 正 琴・大師範補 じゅうたそうきょくさんげん 地歌箏曲三絃・師匠 むらかみ しょうしゅう 村上 彰 琇 様 他
9 月 10 日 (火) 13:30~15:00	「おかげ踊りの歴史」 (兼) 文化講演会	精華町教育委員会 生涯学習課 古文書等調査員 なかがわ ひろかつ 中川 博勝 様
10 月 1 日 (火) 13:30~15:00	「ジェンダー平等実現に向けて」 ～具体的な取組から学ぶ～ (兼)男女共同参画講演会	株式会社 ICB 代表取締役 たきい ともみ 瀧井 智美 様
11 月 16 日 (土) 13:30~16:00	「高齢者体力チェック」	スポーツ推進委員、町職員
12 月 10 日 (火) 13:30~15:00	「いのちをいただき、いのちは生きる」 (兼)井手町人権のつどい	北出精肉店店主 きたで しんじ 北出 新司 様
1 月 21 日 (火) 13:30~15:00	「新春落語 玉川寄席」	しょうふくてい はくし 笑福亭 伯枝 様
2 月 18 日 (火) 13:30~15:00	・閉講式 ・「色の効果で毎日をハッピーに！ パーソナルカラー体験講座」	認定 NPO 法人 色彩生涯教育協会 認定講師 カラトリエ 代表 つじい ひろみ 辻井 裕美 様

開講式・第1回講座のまとめ

- 1 日 時 令和6年(2024年)7月30日(火)13:30~15:00
- 2 会 場 山吹ふれあいセンター 会議室
- 3 内 容 開講式 式 辞 井手町教育委員会 中田 邦和 教育長
講 演 テーマ 『和楽器に触れよう』
講 師 琴伝流大正琴大師範補・地歌箏曲三絃師匠
村上 彰琇 様 他4名
- 4 参加者 受講者 38名 その他14名 計52名
- 5 開講式

<教育長挨拶>

本町の行政・教育行政にご理解・ご支援をいただいておりますこと、感謝とお礼を申し上げます。
今年の夏は、厳しい暑さで、昨日の京都は39℃、他に40℃を超える地域が6箇所もあったそうです。暑さ対策に気を付けていただきたいと思います。本日も、正にそんな暑い中、多数ご参加いただき、誠にありがとうございます。

先日よりオリンピックが始まりました。昨日は男子体操の代表が金メダルを取ったという情報がありました。

さて、教育・学習の場というのは学校だけではありません。井手町教育委員会としては、生涯学習の機会として井手玉川大学を開催し、生涯にわたり生きがいを求めて積極的に学習し、進んで社会活動に参加いただくことを願っています。井手玉川大学は、昭和49年から始まって48回の歴史のある講座であります。多くの方々が同じ目的の下に集うことで、仲間同士のふれあいを深める機会となれば誠に幸いです。

本日はこの後、琴伝流大正琴、地歌箏曲三絃の先生であります村上 彰琇 様をはじめ5名の皆様方に『和楽器に触れる』という演題で、日本の古くからの楽器について教えていただく予定になっています。音楽関係の講座は9年ぶりの実施となります。演奏体験にチャレンジいただく時間もご用意いただいているとのことです。

今年度も京都府聴覚言語障害センターの方に要約筆記でお世話になります。

最後に、今日ご参加の皆様のご健勝とご活躍、井手玉川大学の益々発展を祈念いたしまして、開講に当たってのご挨拶とさせていただきます。

本日はありがとうございます。

6 講座

<講演概要>

講演主旨

- ・和楽器(特に箏・三味線・大正琴・胡弓・尺八)の歴史や楽器の構造について知る。
- ・実際に演奏を鑑賞する。
- ・演奏体験を通じて和楽器を身近に感じる。



(1) 講話

「アジアのコト」

琴には世界中にたくさんの種類がある。静岡県浜松楽器博物館に殆んど揃っている。

和楽器には、箏、三味線、尺八、胡弓、大正琴などがある。

箏曲の歴史は、雅楽から始まり時代とともに変化してきた。戦後使っているのは、山田流のお箏。

「胡弓の歴史と尺八の歴史」

胡弓は、当道座の盲目の音楽家たちによって演奏されたことから始まった。

尺八は、いろんな長さがあるが、1尺8寸が一番ポピュラーですべての楽器に合わせやすい。

三味線には、細棹、中棹、太棹がある。

「箏と琴」

「こと」には、「箏」と「琴(大正琴)」があり、別のもの。箏は柱があるが、大正琴にはない。「琴は」日本で生まれた唯一の楽器。

(2) 鑑賞曲

大正琴は元々玩具として誕生して110年、約50の流派がある。井手町では琴山流の先生が指導されている。我々琴伝流では、ソプラノ、アルト、テナー、ベースの4つのパートで演奏する。

1「越後獅子」 2「カチューシャの歌」 3「人生劇場」(歴史的参考曲)

「越後獅子」は大正琴誕生の頃の曲、楽譜がなかったので大正琴は普及しなかったが、「カチューシャの歌」の頃から楽譜が誕生し大きく流行った。一時廃れたが「人生劇場」がきっかけとなって再び流行した。

4「心の旅」

5「女ひとり」 6「嵯峨野さやさや」

10月岐阜県で開催の国民文化祭において京都代表で演奏する曲

7「手のひらを太陽に」

8「思い出のアルバム」

(3) 演奏体験

「大正琴」

指使い、ピック(爪)の使い方演習の後、『海』の楽譜をもとに参加者が演奏体験

助演者4名が会場を回り、演奏指導・補助

練習後、参加者による合奏

「箏」

希望者は、村上師範補の指導により演奏体験

※ 大正琴の魅力(大正琴を習っておられる方々の声)

- ・何歳からでも始められる。
- ・奥が深く、次々と新たなことに挑戦できる。
- ・曲を弾けるようになった時の喜びが大きい。

第2回講座・文化講演会のまとめ

1 日 時 令和6年(2024年)9月10日(火) 13:30~15:00

2 会 場 山吹ふれあいセンター 会議室

3 内 容 挨拶 文化協会 谷口良信 会長

講 演 テーマ 『おかげ踊りの歴史』

講 師 精華町教育委員会 生涯学習課

古文書等調査員 中川 博勝 様

4 参加者 受講者 41名 その他10名 計51名

5 講演概要

(1)はじめに

- ・井手町民俗芸能保存会による「おかげ踊り」(井手町さくらまつり、玉川・玉津岡神社)
- ・多賀村「おかげ踊り絵図」(井手町指定文化財・京都府暫定登録文化財)
- ・井手町地域および南山城地域の「おかげ踊り」の歴史について、時代を追ったその特徴

(2)おかげ参り

ア 概要

- ・江戸時代、突如日本各地から大勢の人々が伊勢神宮へ参詣した流行現象
- ・宝永2年(1705)・明和8年(1771)・文政13年(1830)の3回が特に大規模
3~5ヶ月ほどの間に約200~400万人
- ・道中での施行 飲食・宿泊・駕籠などを無料で接待
→施行を当て込み、平時は参宮旅行が困難な人々も大勢出かけた
- ・平時の伊勢参宮 伊勢講による積立(男性・戸主中心)
- ・ぬけ参り:少年・奉公人・女性らが親や主人に無断で伊勢参宮
→日常生活の束縛からの一時的開放感

イ 大規模なおかげ参り

- ・明和8年(1771)のおかげ参り
丹後で第1次発生(3月)、宇治から井手にかけて第2次発生(4月)→全国へ波及
- ・文政13年(1830)のおかげ参り
阿波で発生(3月)
寺田村(城陽市)からは、合計369軒、1169人が伊勢参宮

(3)おかげ踊り

ア 概要

- ・文政13年(1830)~天保2年(1831)
近畿地方でおかげ参りの後に流行した共同体挙げての踊り(狭義)
- ・おかげ参り流行中、街道沿いの町村では、地区単位で施行をした。
奈島村(城陽市)の事例 若者による駕籠かき 銭・餅
→揃いの衣装や運営で盛り上がり、おかげ踊りへ発展する可能性(施行踊り)
- ・河内南部で発生(1830年5月)→大和(6月)→山城(9月)→摂津(1831年4月)→播磨(8月)
- ・掛け踊り:大勢群れ集まって村から村へと踊って行く踊り

イ 踊りの形態と特徴

* 寺田村の事例

- ・水度神社のおかげ踊り図絵馬／神主中島白禱(しらかし)の日記
- ・文政 13 年(1830)11 月 1 日、同村のうち北東町の踊りを描く
- ・共同体(町・村など)挙げての踊りで、統制が取れ、よく整っている
- ・揃いの衣装・採りもの(扇)
- ・楽器(三味線・太鼓・摺鉦・笛)
 - ① 近隣村々から踊り込み→②稽古の開始(町ごと)→③予行演習→④本番(氏神へ踊り奉納、七町の競演)→⑤村内を踊り回る→⑥近隣村々へ踊りに出、石清水八幡宮参詣→⑦伊勢神宮へ代参出発→⑧氏神へ絵馬奉納

* 水無村の事例

採りもの(扇) 楽器(太鼓・摺鉦)

* 石垣村の事例

楽器(三味線・太鼓・胡弓・摺鉦・笛・(小)鼓)

* 玉水宿の事例

先踊り(髭奴の舞・三社舞) 歌詞(新作) 楽器(石垣村と同様)

(4)「ええじゃないか」

ア 概要

- ・慶応 3 年(1867)～慶応 4 年(1868)
江戸幕府崩壊期、神仏の御札等の降下を契機に、各地で人々が祝祭や踊りに熱狂した流行現象
- ・従来「乱舞」というイメージが強いが、必ずしもそうした事例ばかりではない
- ・各地で様々な名称⇒南山城・大和では「おかげ踊り」の呼称
- ・地域の伝統的祭礼の要素が含まれる
- ・伊勢神宮の御札だけでなく多種多様な信仰の要素が混在
- ・おかげ参り・おかげ踊りも「ええじゃないか」の前史として重要な要素であり、共通性が多く見られる
- ・特に南山城や大和では、文政 13 年(1830)のおかげ踊りとの共通性が強く、文政のおかげ踊りと同様の町村挙げての統一のとれた踊りが踊られていた(こうした踊りだけではないことにも注意)

イ 南山城における発生と伝播

- ・「ええじゃないか」の発生は慶応 3 年(1867)7 月三河国
- ・近畿での最初の発生は、9 月に山城・大和
- ・山城での発生は玉水周辺
 - ① 9 月中旬、玉水町竹屋宅と水無村和三郎に、御祓大麻が降り、おかげ踊りが始まる
 - ② 9 月下旬、玉水町酒屋店宅に、伊勢両宮・天照皇太神宮御祓が降り、おかげ踊りが始まる
 - 玉水の竹屋(政七・善七)と酒屋(太郎右衛門)は、ともに旅宿。
 - 酒太は、浪花講(優良旅宿組合)の定宿。
- ・南山城での流行開始は、京都よりも早い(京都は 10 月中旬大政奉還以後大流行)

- ・南山城における伝播の状況
- ・前年から凶作や幕長戦争に伴い米穀をはじめとする諸物価が高騰
→慶応 3 年夏になり大豊作と戦争回避(長州征討の高札撤去)による安堵感が広まる
なか、南山城・大和でおかげ踊りが流行→10 月幕府の大政奉還後、近畿一円で大流行
- ・降札の種類
伊勢神宮が圧倒的に多いが、その他の寺社もあり
文政 13 年おかげ踊りとの意識面での共通性 伊勢信仰(伊勢講)が盛んな地域

ウ 踊りの形態と特徴

- ・慶応のおかげ踊り図絵馬
城陽市中・天満神社 木津川市加茂町里・春日神社 同岩船・白山神社
→寺田・水度神社の文政の絵馬との共通性
中・天満神社の絵馬 世話方の名前:文政のおかげ踊りの経験世代
- ・井手村と水主村(城陽市)の事例
降札を祝う振舞と奉納品 引物を運ぶ練り込み行列 地域の政治的・経済的な有力な
家を巻き込んだ盛大な祭り
- ・共同体あげての踊りから個別の踊りへ
上津屋村(八幡市・城陽市)の事例

エ 多賀村のおかげ踊り図絵

- ・縦 31.5 cm × 全長 252.5 cm
- ・踊り子の扇子に「おかげをどり」、幟に「太神宮 多賀村 本郷」と記載
- ・文政 13 年(1830)または慶応 3 年(1867)のおかげ踊りかと推定
- ・楽器(三味線・笛・小鼓・摺鉦・太鼓)
- ・性的な表現 男根型のかぶり物
- ・稻荷信仰 伏見人形の狐と男根、豊作・多産祈願の民俗的信仰

(5)大正・昭和の復活

- ・大正 4 年(1915)・昭和 3 年(1928)
- ・京都府や奈良県の内、江戸時代(文政・慶応)におかげ踊りを経験した地域では、御大典
(天皇即位礼)の奉祝踊りとしておかげ踊りを踊った村もあった
- ・昭和 42(1967)年は明治 100 年に相当、これを契機に南山城・大和で復活が相次ぐ→
保存会によって現在に伝承

木津川市加茂町岩船	白山神社	昭和 42
綴喜郡井手町井手	玉津岡神社	昭和 50
城陽市寺田	水度神社	昭和 53
相楽郡和束町園	天満宮	昭和 55
山辺郡山添村菅生		(継承)
奈良市田原	天満神社	昭和 53

(6)おわりに

おかげ踊りは、江戸時代から何度か復活して今に繋がっている 少子高齢化等で
伝承が難しくなっているが、改めて見つめなおす機会としていただければと願う

第3回講座・男女共同参画講演会のまとめ

1 日 時 令和6年(2024年)10月1日(火)13:30~15:00

2 会 場 山吹ふれあいセンター 会議室

3 内 容 挨拶 井手町教育委員会 中田 邦和 教育長

講演 テーマ 『ジェンダー平等実現に向けて

～具体的な取組から学ぶそれぞれに必要なこと～』

講 師 株式会社ICB 代表取締役 瀧井 智美 様

4 参加者 受講者 31名 その他12名 計43名

5 講演概要

(1)オリエンテーション

「性別や属性に関わらず、だれもが自分らしく生きる・自分らしく働ける社会に向けて、現在の状況を数値(0~10)で表してみてください。

→皆さん、およそ5点以下であるが、それはなぜかを話し合ってみてください。

(グループディスカッション)

- ・男女雇用機会均等法が施行以来改善されてきたが、まだまだ「男は仕事、女は家事」という考え方
- ・女性が男性と同じことをしようとしてもハードルが高い。
- ・自分たちが受けてきた教育は、そういうものであった。



(2)ジェンダー平等とは何か

○目指したいジェンダー平等な社会とは

- ・自らの意思に基づき、個性と能力を十分に発揮できる。
- ・男性と女性がともに充実した職業生活、その他の社会生活、家庭生活を送ることができる。

○実際は？

- ・性別で役割を決めつけられた経験あり 76.3%(内閣府調査)

○118 位/146 カ国中

- ・日本のジェンダーギャップ指数(世界経済フォーラム)

○なぜ？

- ・「教育」「健康」は良いが「政治参画」「経済参画」が低い。

○女性活躍推進法ができた背景

- ・女性活躍の壁「採っていない」「育てていない」「続けたくない・続けられない」「昇進したいと思えない」

○女性活躍 3.0 からダイバーシティ 2.0(多様な人材活躍)へ

(3)無意識の思い込み(アンコンシャスバイアス)とは何か

○例えば？

- ・「女性らしく・男性らしく」「こうすべき」「ふつう・・・」

○4人の人物のうち最も頻繁に休みを取りそうなのは？

(グループディスカッション)

- ・①小さい子どものいる母親(子どもの世話) ②高齢者(自らの体調) ③中年女性(親の介護) ④若い男性(自分のために休む)→無意識の思い込み

○根強く残る性別役割分担意識

- ・「男性なら残業や休日出勤をするのは当たり前」「家庭より仕事を優先すべき」
男性を縛る「大黒柱バイアス」
- ・「女性は管理職に向いていない」「受付・接客は、女性の仕事」
女性を縛る「良妻賢母バイアス」

○豊岡市

- ・経験業務の男女差が自信の無さ

○内閣府「チェックシート」

○あなたやあなたの周りにある無意識の思い込みは？

(グループディスカッション)

- ・依然残る無意識の思い込み 「男性なのに料理」「家のことは女性」
- ・少し改善されてきていること 「看護婦→看護師 保母→保育士」

(4) 無意識の思い込みを乗り越えよう

○知識・意識・行動の上書をしよう！

○声を上げる若者たち

- ・高校生が作ったジェンダー平等の動画
「リケジョって呼ぶのはやめて」「男子なのに日焼け止めを塗るのはおかしい」

○違和感を表明する

- ・日経新聞『違和刊』 「昇進したいならゴルフやりなよ」「面接で育休のことを聞いたら、偉くなりたくないのかと言われた」

○無意識の思い込みの登場人物

- ・「行為者」「当事者」以外の「傍観者」が「支援者」に回することで、「共感」「肯定」「擁護」として作用する

○考えるきっかけや気づきを促す働きかけをしよう

- ・復唱表現:「育児をする男性は仕事に熱心じゃないよね」→「育児をする男性は仕事に熱心ではないとおっしゃるのですね」

質問表現:「交渉事は女性には無理だよね」→「具体的には、どのようなことが無理なんでしょうか？」

言い換え表現:「女性ならではの視点を生かしてください」→「女性・男性ではなく個人の視点を生かせるといいですね」

○各自治体の具体的な取組の一例

- ・大阪府「府が発信するポスター、パンフレットなどの刊行物、ウェブサイト、テレビ、ラジオなどにおける文章、イラスト、写真、音声、映像などを対象に表現ガイドライン作成」

○企業の具体的な取組の一例

- ・朝日新聞社「2020ジェンダー平等宣言開始、主催シンポジウム登壇者の男女比率が40%を下回らない」

(5) 今後に向けて

○今日の学びの交流

(グループディスカッション)

第4回講座のまとめ

1 日 時 令和6年(2024年)11月16日(土)14:00~16:00

2 会 場 府立山城勤労者福祉会館 体育館

3 内 容 『体力チェックと輪投げ練習会』

- ① 開会 挨拶 スポーツ推進委員会 寺村勝彦委員長
- ② 準備体操 スポーツ推進委員
- ③ 体力チェックと輪投げ
 - ・開眼両足立ち(一斉計測)
 - ・体力テスト4種目(握力、上体起こし、長座体前屈、10m障害物歩行)と輪投げを A・B 2グループで交互に実施
 - ・6分間歩行(一斉計測)
- ④ 閉会

4 参加者 井手玉川大学受講者 28人

要員 : 井手町スポーツ推進委員 9人、保健医療課4名、高齢福祉課2名、保健センター3名、社会教育課5名 計 51名

5 成果と課題(申し送り)

①成果

○運動に適した比較的暖かな気候であったため、特に大きなケガや体調不良がなかった。

②課題

○6分間歩行で転倒があった。測定についてはくれぐれも無理をしないことの注意喚起、歩行経路の床面の安全確認に努める。



第5回講座・井手町人権のつどいのまとめ

- 1 日 時 令和6年(2024年)12月10日(火) 13:30~15:00
- 2 会 場 山吹ふれあいセンター 会議室
- 3 内 容 挨拶 井手町教育委員会 中田 邦和 教育長
講演 テーマ 『いのちをいただき、いのちは生きる』
講師 北出精肉店店主 北出 新司 様
- 4 参加者 玉川大学年間受講者 38人、その他 25人、行政職員 20人、合計 83人
- 5 講演概要

映画は、日本国内で800箇所、韓国、イギリス、ドイツでも上映された。
一番大きな屠場は芝浦にあるが、牛は一日に430頭、豚は2100頭
処理される。貝塚の屠場は日本で一番小さい。「牛をハンマーの一撃で
倒す。」など屠畜業は、残酷な仕事と思われる。



～～ 映画「ある精肉店のはなし」ダイジェスト版映像～～

- ・2011年閉鎖になった屠場の様子、北出精肉店の仕事の様子、太鼓に革を張る作業の様子
- ・2012年3月、代々使用してきた屠畜場が、102年の歴史に幕を下ろした。
- ・水平社宣言との出会いから部落解放運動へ
- ・「人が生きていくために牛の命をもらう。」仕事は、他の仕事と何も変わらない。それが差別につながることに憤りを感じる。

牛は「美味しい牛になろう。」とか「人に食べられよう。」と思って生きているのではない。牛の寿命は約15年であるが、食肉用はたった約3年で肉になる。牛の命を奪って人は食しているのである。牛の命をいただいて人は生きているとも言える。

自分が部落民であることを意識したのは高校の時であり、部落解放運動に参加することになった。高校の先輩・後輩の影響もあったが、父親の背中を見て育ったので、その影響を受けた面も大きかった。

大正8年生まれの子は、小学校1年の時に差別を受け学校に行けなくなった。商売の上でかけ算はできたが、字は書けなかった。字を知らないことの厳しさ口惜しさが、ずっと頭の中にあったという。(新司さんが)小学校の時、(新司さんが書いた)ノートの「m(メートル)」という字を見た父に、「なんや、この蛇がほうてるような字は。」と叱られ、教科書やノートを全部破り、向かいの川に捨てられ、ランドセルまで燃やされたという経験が2回もある。姉も弟も同じ経験をしている。やはり、字を知らないという負い目を感じてきた分、息子や娘への思い入れが強かったんだと思う。

1965年同和対策審議会答申、そして1969年同和対策事業特別措置法が公布・施行された。また、「水平社宣言」が全国水平社の創立大会で読み上げられ、差別を受けることなく、人間らしく生きていける社会の実現を願って部落解放運動が進められる。水平社宣言の中の「ケモノの皮剥ぐ報酬として、生々しき人間の皮を剥取られ、ケモノの心臓を裂く代価として、暖かい人間の心臓を引裂かれ・・・」という文章に出会い「自分のルーツ」を感じた。

映画ができた頃2012年には、国内で119万頭の牛、1590万頭の豚が処理された。ということは、それだけの牛や豚が人の口に入っているということになる。国内自給率では、牛が約38%、

豚が48%だから、輸入も合わせると大変な数になる。形を変えるとわからないかもしれないが、それだけの牛や豚が人の口に入っているのである。人が生きるということは、それを支える人がいるということと食べるものがあるということ。食べるものには命があるということ。その命が人を支えているのである。

また、2人の両親、4人祖父母、8人の曾祖父母からきて子孫に繋がっていく。人はみなその歴史を背負っているのである。戦争においても、アジア諸国への侵略があり、原爆や沖縄戦という歴史があって今に繋がっていることをしっかり噛み締め子どもたちに伝えなければならないと思う。

私は50年以上差別をなくす運動に関わってきた。差別は一気にはなくならないが、徐々になくなっていくものだと思う。しかしそこには人の努力が必要である。今日ここへ来ている人はみんな「人権は大切」「差別はダメ」と思っている人ばかりだと思う。

かつて講演で訪れた大阪府立の工業高校、子どもたちは主に大阪湾の埋め立て地の中で、鉄やアルミを溶かしたり組み立てたりする会社に就職するのだそうだ。考えてみると、我々が携わっている畜産業や農業で使う道具は工業で作られている。全ての仕事はつながり、人と人も繋がっているのである。どの仕事も大切でどの仕事が一番というようなものではないし、人と人も同じで差別があってはいけない。人権は大切であると思う。

(質問)

Q: 過去には「橋の無い川」「カムイ伝」が放送されたが・・・。

A: 自分はずっと住井すゑさんを追いかけていた。住井さんは、奈良県の被差別部落の隣村の農家の娘さんで、「いつか自分が大人になったとき、この問題は小説に書いて知らせないといけない。」と思っていたとのこと。

Q: 屠畜業とだんじりとのつながりは？

A: 弟が革屋で太鼓を作っている。太鼓は牛の革でできているが、だんじり祭りで有名な岸和田の青年団員の中にそれを知らない者がいる。おかしい話だと思う。奈良県だったら「墨」があるが、あれはカーボンで固めているのだが、あのカーボンは「膠」である。

(感想)

- ・普段意識せずに食べているが、「牛の命をいただいて人は生きている。」という言葉が印象的で、命は全て繋がっている。私たちは様々な命に生かされているということを忘れてはいけないと改めて感じた。
- ・「屠畜業」という新しい視点で人権について考えることができました。仕事が差別に関係しているということを初めて知りました。牛が倒れるシーンは残酷に感じたけれど、これが「命をいただく」ということなのかと改めて感じました。人が生きていく上には様々な仕事があり、そこに上下関係があるわけではない。お互い感謝をもって接することが大切だと感じました。
- ・北出さんの実体験を中心としたお話を聞けて大変勉強になった。それと同時に部落差別の歴史の重さも感じることもできた。差別をなくすためには、事実を知ることから進めることが大切だと思った。
- ・「人権問題は時間はかかるが無くなる。」とおっしゃっていたことが心に残りました。そうなるよう皆が自分のこととして考え、伝えていくことが大切だと思う。

第6回講座のまとめ

- 1 日 時 令和7年(2025年)1月21日(火) 13:30~15:00
- 2 会 場 山吹ふれあいセンター 会議室
- 3 内 容 講 演 テーマ 『新春落語 玉川寄席』
講 師 笑福亭 伯枝 様
- 4 参加者 受講者 37名 その他9名 計46名
- 5 講演概要

1982年に笑福亭松鶴に入門、落語家になって42年になる。そのころからの夢が井手玉川大学で落語をすることだった。我々のユニホームは着物であるが、今日は持っている着物の中で一番良いものを持ってきた。北は北海道から南は大阪難波まで全国各地に行くが、井手町は本当に良いところ。去年、岩手県に行った。300人入るホールでお客さんが2人、お爺ちゃんとお婆ちゃん一人ずつ、そのうちお爺ちゃんは、途中で家族が迎えに来て帰ってしまい、お婆ちゃんだけが最後まで聞いてくれた。ありがたいなと思っていたら、落語が終わるとお婆ちゃんはホールの掃除を始めた。なんのことはない。そのお婆ちゃんは、掃除のおばちゃんだった。落語はお客さんが多すぎても少なすぎてもダメ。今日の井手町ぐらいが一番良い。男性と女性の割合が気になるが、今日は女性が多くて嬉しい。男性と女性を比べると、女性の方が明るく声に出して笑うので良い。男性は声に出さない。腕を組んで肩で笑う。別嬪さんが多いと緊張してしゃべりにくい、今日はしゃべりやすい。いずれにしても、笑いは健康の元、笑う門には福来る。笑うとナチュラルキラー細胞が増幅して、がん細胞を攻撃してくれるということを発表している医者もいる。大いに今日は笑ってください。

師匠の笑福亭松鶴は、大阪の落語四天王のうちの一人、鬼瓦のような顔をした人、よく顔の怖い人は心が優しいというが、松鶴師匠は顔も性格も怖かった。噺家と他のお笑いが違うところは、噺家には徒弟制度があって師匠に入門しないと噺家になれない。漫才などには学校があるが、噺家にはない。だいたい3年間は内弟子修行をする。師匠の家に寝泊まりし、家のふき掃除掃き掃除、料理のお手伝い、車の運転手、買い物の付き添い、犬の散歩、猫の餌づくりを経験してはじめて落語を教えてもらえる。はじめのうちは長い噺は教えてもらえず、短い小噺。「おーい、ハトがなんか落としていきよったな。」「フーン」。2年目になると「隣の空き地に囲いができたな。」「へー」。3年目「雨が漏ってきたな。」「ヤーネ」、「おかあちゃん、パンツ破れた。」「マタカ」、今日のお客さんは、オチがよくわかっている。「マタカ」で笑う。これが小学生だと「おかあちゃん、パンツ破れた。」で笑ってしまうので、笑いのツボが違ってやりにくい。



今日は、健康を扱った小噺を聞いていただこうと思う。医者が患者に「体の調子が悪いのなら、3つの約束を守らねばならない。」と指示する。「酒は日に1合、たばこは日に5本、食事は決められた時間に」。患者は一ヵ月3つの約束を守って再びお医者さんへ。「3つの約束は守りましたか?」(医者)、「はい、守りました。」(患者)、「3つの約束でどれが一番しんどかったですか?」(医者)、「日にたばこ5本が辛かった。」(患者)、「どうして?」(医者)、「私、普段タバコ吸いません。」これが、考えオチ。今日のお客さんは8割の方がわかっておられる。が、2割のお客さんは、「何が面白いんや?」ですね。

ギャンブルを扱った小噺、ある男が寝ていると、枕元にギャンブルの神様が現れ、「おまえのラッ

キーナンバーは6番」と言う。競馬に行くことにする。やってきたタクシーのナンバーが「666」。運転手の名前を見ると「六田六雄」。競馬場に着いて料金が「6666円」。6番窓口に並んで6番の馬に全額賭ける。レースの結果、6番の馬は6着だった。

噺家は「扇子」と「手ぬぐい」の仕草で表現する。「うどんを食べる仕草」左手で茶碗、扇子で箸を表現する。「酒を飲む仕草」扇子でお銚子を表現。お酒を飲む人には、それぞれ癖がある。「笑い上戸」「泣き上戸」「怒り上戸」、世の中は変わった癖の人もある。「薬上戸」「鶏上戸」「壁塗り上戸」。扇子を開いたり閉じたりすることで「植木鉢」を表す。

手ぬぐいで「焼き芋を食べる仕草」をする。不思議なもので、焼き芋を食べる人は皆、自分の歯型を見ながら次をかじる。「扇子」と「手ぬぐい」の仕草としゃべりで、短い小噺や長い落語を表現し、皆さん方に想像して笑ってもらうというのが我々落語家の世界であります。

【落語：源平盛衰記 披露】

「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり…。奢れるものは久しからず…」

「平家にあらずんば人にあらず。」 平家物語

頂点を極めた平清盛、そのあまりにも横暴な振る舞いに業を煮やした者の中、いち早く挙兵したのが木曾義仲、倶利伽羅峠の戦いで平家の大軍を打ち破った。

木曾義仲の兵隊というのは大変強かった。毎日木曾の山奥で激しい訓練を積んでいた。「基礎(木曾)訓練」。体力も備わってありました。「基礎(木曾)体力」。

ダジャレというのは、同音異義語を早く見つける言葉の遊びである。ダジャレこそが笑いの基礎(木曾)になっております。

木曾義仲が用いた兵法が「火牛の計」牛の角に松明をいわいつけ、火をつけて夜中に敵陣に放つ。火を消そうとするが消えない。焼け牛(石)に水。

このネタは東京の爆笑王と言われた先代林家三平師匠が話すと大爆笑。三平師匠はどんなダジャレを言っても大うけする。

なぜかと言うと、ダジャレを言った後、おでこに拳をもってくる。

そうするとお客さんは笑わなければならないというルールが出来上っている。私も真似しようと思うが、それではパクリになる。

だから私はギャルピースをする。ギャルピースをしたらお客さんは笑うのですよ。「笑いは健康の元」「笑う門には福来る。」ですよ。

5年前に大病(進行性ステージ3の癌)を患い大きな手術をした。2人に1人が癌に罹ると言われる。一番大事なことは早期発見、ステージ0とかステージ1の間に見つけて早期治療すること。

【社会教育課職員に落語指導】

・扇子を箸にうどんの食べ方 ・手ぬぐいを芋にサツマイモの食べ方 ・小噺

【質疑応答】

Q 師匠は滑舌がとても良くてわかりやすい。どのように稽古されたか？

A 私は本来滑舌が良くない。しかし、声は大きい。人に伝えるときは、大きい方が良い。

それと、句読点を意識しながら抑揚をつけてしゃべることが大事。

Q 師匠のファンです。「亀は元気ですか？」

A 「趣味でクサ亀を27年飼っている。」「亀の方が僕より長生きすると思う。」

「今、亀を2匹、メダカを数百匹飼っている。」



第7回講座のまとめ

- 1 日 時 令和7年（2025年）2月18日（火）13：30～15：00
- 2 会 場 山吹ふれあいセンター 会議室
- 3 内 容 講 演 テーマ 『色の効果で毎日をハッピーに！パーソナルカラー体験講座』

講 師 カラトリエ代表 辻井 裕美 様

- 4 参加者 受講者 34名 その他8名 計42名

5 講演概要

今日は皆さんにパーソナルカラー（その人に似合う色のこと）についてお伝えさせていただきながら、体験をしていただこうと思う。

井手町は玉川沿いに約500本の桜が植えられていて、来月・再来月には綺麗な花が咲くと聞いている。桜の花は美しいピンク色だが、色がなくなると寂しい感じになる。実は、ピンクは安心する色でもある。私たちの周りには実にたくさん色がある。

人の第1印象は五感の中でも視覚に大きく左右される。視覚が83%と言われる。正に見た目は大事である。さらに、視覚の中でも色に関する情報がほとんどである。例えば、かき氷の味はイチゴもメロンもみな同じ。見た目の色と香りで人は左右されて「イチゴだ」「メロンだ」と感じているのである。また、第1印象は2年も続くと言われている。第1印象は、笑っていることが大事。「皆さん笑顔の練習をしましょう！」そして笑顔は連鎖する。笑顔と色の相乗効果でバッチリ。

次に、隣の人と「印象イメージチェック」をしてもらう。隣の人の印象について、ワークの中の当てはまる言葉にチェックを入れて、終わったら本人に返す。ワークの言葉は

「ポジティブワード」ばかりなので、褒められている感じになり嬉しいし、新しい魅力の発見にも繋がる。その時、褒められた人に対し良い印象を持つだけでなく、同時に褒めた人も脳が活性化するとされている。



「パーソナルカラー」実は、アメリカが発症である。JF ケネディーが、1960年代の大統領選でニクソン候補に勝利した。パーソナルカラーアナリストのアドバイスを受けて、濃紺のスーツに赤いネクタイを締めたことが、メリハリがあって「できる男」のイメージにつながり勝利したのである。ラジオの演説を聞いた人は、ニクソンが当選すると思ったらしいが、テレビと街頭演説を見た人はケネディーを支持したと言われている。今のトランプ大統領も、情熱あるできる男と見せたいときには「赤いネクタイ」、誠実感を見せたいときには「青いネクタイ」と使い分けているとか。日本の政治家も、小池都知事のイメージカラーや安部元首相がその例である。

たくさんある色を、テキストには「イエローベース（暖かい感じ）」と「ブルーベース（涼しい感じ）」に分けて載せてみた。夕焼けの景色はイエローベース、朝の景色はブルーベース。ヒョウは体が黄色で目も黄色いイエローベース。ホワイトタイガーは体が白で目が青いブルーベース。インテリアにもイエローベース、ブルーベースがある。人の似合う色もどちらかに分かれるのでは、というのがパーソナルカラーである。好きな色と似合う色とは違っている場合がある。

顔色に血色をプラスする暖かい感じ（イエローベース）と、マイナスする涼しい感じ（ブルーベース）。どちらが似合う色か決める。

- ・イエローベース：生き生き・若々しい・健康的・明るい
- ・ブルーベース：すっきり・小顔・透明感・上品

机の上にはイエローベースとブルーベースの色画用紙が置いてある。隣と二人一組でカラー診断体験を実施。

イエローベースとブルーベース、どちらが自分に似合うかわかった？



この講座の最初に隣同士でやってもらった「印象イメージチェック」のワークシートは左右イエローベースとブルーベースに分かれているので、実はどちらにチェックが多いかによって、お互いにカラー診断したことになる。それと、今の色画用紙の診断体験で、自分に似合うカラーがわかってくる。そのことを意識した服装を着るなどで魅力が発揮できるということになる。芸能人も似合う色によってイエローベース派とブルーベース派に分けられる。

今日はパーソナルカラーについて説明させていただいた。「パーソナル」は「個人」、「カラー」は「色」、その人の魅力を引き出す似合う色のことを「パーソナルカラー」と言う。似合う色というのは、それぞれの「肌の色」「目の色」「髪の色」「唇の色」「頬の色」と「身に付ける色」「洋服の色」とかが調和するのが似合う色のことです。肌の色が黄色いからと言ってイエローベースが似合うとはかぎらない。似合う色を身に付けることで、その人の魅力や個性が引き出される。そうすると自信が出る。自信が顔に出ると行動が変わってくる。それが繰り返されると、きっと毎日が楽しくなる。

服装はコミュニケーションツールとも言われる。その人らしさを無言でメッセージできる。第1印象は数秒で決まるということは、数秒でその人らしさを演出できるのが色である。

今日皆さんが知っていただいたことを行動にうつしてほしいと思う。そして、今日話を、是非、生かしてほしいと思う。

生かした例を映像で皆さんに見ていただく。(映像) 印象が良くなるよね。



今日は皆さん、色の効果をわかっていただけたと思う。笑顔の効果も分かった？人のいいところを見つけることも、自分が輝く色ということも分かっていただけたと思う。お話しさせていただいたことから、「色」ということを少しでも気にかけるきっかけになったらと思う。

最後に「色の効果で笑顔あふれる日々になりますように」ということで今日の講座を終わらせていただく。

【質疑応答】

Q フォーマルではブルー系、行動的になる旅行などの時にはイエロー系、その時々似合う色と

というのは変わるのではないと思うが、行動によるパーソナルカラーの変化についてはどのように考えられているか？

A 誠実・信頼は「青」だけれど、青＝ブルーベースというわけではない。青にもブルーベースの青とイエローベースの青がある。似合う方の青がその人に合う色になる。同じようにブルーベースの黄色とイエローベースの黄色がある。似合う色で使い分けるとよい。ただ、似合う色しか着てはいけなくはなく、好きな色も大切である。その中で自分に合うベースカラーを意識できるとよいのでは。